

内科医のための 臨床 問題集

医師は医師免許を取得することがゴールではなく、生涯教育による update を常に求められる職業です。本邦も諸外国同様に高齢化が進行し、複数の疾患を抱えている患者も増加しており、検薬すると大量の薬剤を服用していることにしばしば遭遇します。ポリファーマシー対策の重要性も指摘されており、系統立った診療を行い、適切な薬剤を最小限投与することが必要な時代となっています。いわゆる“総合診療医”が求められる時代になったと言えるでしょう。

そのような状況にもかかわらず、内科領域においても専門志向が続いており、系統立った内科診療ができる医師が減ってきたと実感することが多くあります。日本内科学会もそのような状況に危機感を覚えて、新内科専門医制度を発足させ、内科研修期間の延長による内科全般の研修を必須としました。

内科で専門志向が進んだ背景としては、内科がカバーする範囲が膨大でアップデートも頻繁なため、特定の領域に特化しないと患者に適切な診療が提供できないという事情もあり、今後もその傾向は続くと思われます。そこで、内科全領域の知識のアップデートやコアエッセンスをできるだけ少ない時間で習得する目的に、先生方にとって馴染みの深い問題集形式で、本特集を企画しました。

私が認定内科医・総合内科専門医資格認定試験を受験する先生を対象に院内で勉強会を開催したのが2014年からで、今年が10年目の節目です。本特集ではこの10年間に蓄積したエッセンスに基づき、尺の都合でCareNetの番組では入れられなかった写真や画像をあますところなく盛り込んだ症例問題143題・一般問題68題を厳選したので、内科専門医・総合内科専門医資格認定試験対策にも有用と考えています。

多忙ななか、本特集の作問に協力いただきました先生方、また校正いただきました医学書院の皆様には感謝しつつ、巻頭の言葉といたします。



長門 直

嶋田病院内科・救急科